none

none

none

© EPODOC / EPO

PN

- JP59180746 A 19841013

PD

- 1984-10-13

PR

- JP19830055495 19830331

OPD

- 1983-03-31

ΤI

- SYSTEM FOR DIVIDING AND SIMULTANEOUS OUTPUTTING LIST FILE

IN

- YAMAMOTO SHIYOWI; HIRAI MINORU

PA

- FUJITSULTD

IC

- G06F3/00; G06F9/46; G06F13/00

@ PAJ / JPO

PN

- JP59180746 A 19841013

PD

- 1984-10-13

AP

- JP19830055495 19830331

IN

YAMAMOTO SHIYOWI; others: 01

PA

- FWITSUKK

TI AB - SYSTEM FOR DIVIDING AND SIMULTANEOUS OUTPUTTING LISTFILE

- PURPOSE:To improve the utilizing efficiency of a computer, by dividing a list file and simultaneously outputting plural divided parts with plural printers.

- CONSTITUTION: The number of pages for one buffer is found by dividing the total number of pages of a list file by a number of partitions (in this case: 2) and output buffers 8-1 and 8-2 are newly secured. The first half content of the output buffers before dividing is copied in the output buffer 8-1 and the second half content is copied in the output buffer 8-2. Then job entries 7-1 and 7-2 are implemented correspondingly to the output buffers 8-1 and 8-2 and the job entries before dividing are removed from a cue terminal and the output buffers are returned. Thereafter, the job entries 7-1 and 7-2 are connected with the cue terminal A and job entry 7-1, respectively, instead of the output buffers 8-1 and 8-2.

butters 8-1 and 8-2.

- G06F9/46; G06F3/00; G06F13/00

CATORIO 985. Company of the company

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(9) 日本国特許庁 (JP) .

①特許出願公開

⑩公開特許公報(A)

昭59—180746

⊕Int. Cl.3

識別記号

庁内整理番号 K 7218-5B ❸公開 昭和59年(1984)10月13日

G 06 F 9/46 3/00 13/00

1 0 1 Z 7165—5B 7361—5B

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 4 頁)

匈リスト・フアイルの分割同時出力方式

创特

頁 昭58-55495

@出

頭 昭58(1983)3月31日

@発 明 者 山本章二

川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 伽発 明 者 平井稔

川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内

⑪出 願 人 富士通株式会社

川崎市中原区上小田中1015番地

仍代 理 人 弁理士 京谷四郎

明 細 崔

1. 発明の名称

リスト・ファイルの分割同時出力方式

2. 特許謝求の範囲

りを作成し、これらジョブ・エントリを上記ジョ ブ出力キューにつなぐ機能を付加したことを特徴 とするリスト・ファイルの分割同時出力方式。

3. 発明の詳細な説明

(発明の技術分野)

本発明は、1個のリスト・ファイルを分割し、 複数の分割部分を複数台のブリンタ装置を用いて 同時に出力できるようにしたリスト・ファイルの 割同時出力方式に関するものである。

〔従来技術と問題点〕

第1図は従来のリスト・ファイルの出力方式を 説明するものであって、1はジョブの実行結果で あるリスト・ファイルが格納される記憶装置、2 はジョブ出力キューや出力すべきリスト・ファイ ルが格納される外部記憶装置、3は出力制御ブロ グラム、4はブリンタ装置、5はリスト・ファイ ル、6はジョブ出力キュー、7はジョブ・エント リ、8は出力パッファをそれぞれ示している。

ジョプの実行結果は外部記憶装置1に順次書込

The state of the s

まれる。ショブの実行が終了すると、出力制御ブログラム3が動作する。出力制御ブログラム3にになって、外部記憶、大田のリスト・ファイル5は出力パッファ8に移され、そのショブのショブ・エントリ8がジョブには、ショブ名やショブのながれる。ショブ・エントリアには、ショブを出力パックのである。ショブは出力クラス毎に行っている。ショブ出力を立て出力クラス毎に存すする。ショブ出力を立て出力クラス毎にです。エントリが順番に取出され、対応する出力パッファイルがブリンタ 装置 4によって出力される。リスト・ファイルの出力はライク(図示せず)によって行われる。

従来技術においては、1つのジョブの実行結果を1個のブリンタ装置4によって出力していた。 このため、ダンブ・リストなど数百ページにおよ ぶ大量のリストを出力しようとすると、非常に長い時間がかかる。出力リストを見て次のジョブを 行おうとする場合、出力リストの出力に長時間を

たとき数当するリスト・ファイルを複数の出力パッファに分割して格納すると共に、それぞれが複数の出力パッファのそれぞれと1対1に対応する複数のジョブ・エントリを作成し、これらジョブ・エントリを上記ジョブ出力キューにつなぐ根能を付加したことを特徴とするものである。

〔発明の実施例〕 ごごごご ギョ

以下、本発明を図面を参照しつつ説明する。 第2図は本発明によるリスト・ファイル分割処理のフローチャート、第3図はリスト・ファイル 分割処理過程におけるジョブ出力キューおよび出 カバッファの状態を示す図である。

分割指程の方法としては、ジョブ制御書語による方法と、JALTコマンドによる方法とがある。ジョブ制御書語による方法は、ジョブ制御書語のリストFD(File Define)文に分割数を指定するパラメータを追加する方法である。下記にその1 例を示す。

¥FD LIST=DA, VOL=WORK, TRK=10 SOUT= (A, S=分割数)

5

特開昭59-180746(2)

要すると、その間計算機は遊んでしまい、計算機 の使用効率が低下する。

〔発明の目的〕

本発明は、上記の考察に基づくものであって、 リスト・ファイルを短時間で出力できるようになったリスト・ファイルの分割同時出力方式を提供 することを目的としている。

〔発明の構成〕

出力待ち又は出力中のリスト・ファイルに対する 分割指定は、JALTコマンドにパラメータを追加 する。下記にその例を示す。

 JALT JN=出力ショブ名、S=分割数 (出力待ち)

 JALT JC=M20, S=分割数 (出力中)

なお、JALTコマンドはコンソールから入力されるものであって、出力クラスを変更する機能や現在出力中のリスト・ファイルをスキップする機能なども有している。 第2図はリスト・ファイルの分割処理のフローチャートである。なお、この処理は、出力制御ブログラムに新たに追加されたルーチンによって行われるものである。先ず、FD文指定の場合について説明する。

- ① 分割指定ありか否かを調べる。 Yee の場合には②の処理を行い、Noの場合にはENDとす
- る。
② 総ペーツ数を分割数で割って1パッファ当
- りのページ数を求める。
- ③ 出力パッファを確保する。

-260-

- ① 1パッファのコピーが終了したか否かを調べる。Y**のときは⑤の処理を行い、No のときは⑥の処理を行い、No のときは⑧の処理を行う。
- ⑤ ジョブ・エントリを作成し、これをジョブ 出力キューにつなぐ。ジョブ・エントリの作成 、はMJPLマクロによって可能である。
 - ⑥ 分割処理が終了したか否かを調べる。 Y・・ のときは⑦の処理を行い、N・ のときは②の処理を行い、R・ のときは③の処理に戻る。
- · ⑦ JALTコマントか否かを調べる。Y・・のと きはENDとし、N・のときは⑨の処理を行う。
- ⑧ 1 レコードのコピーを行い、④の処理に戻る。
- ⑨ 分割前のショブ・エントリを削除し、出力 パッファを返却する。
- 出力待ちJALTコマンド指定の場合には下記の 処理が行われる。
- ①′出力待ちキューを検索し、該当ジョブ・エンントリを見付ける。それ以後、②ないし⑨の処理を行う。

作成され、ジョブ・エントリ8がキュー・ターミナル②から外され、出力パッファ8か返却され、キュー・ターミナル②にジョブ・エントリ7-1がつながれ、ジョブ・エントリ7-1にジョブ・エントリ7-2がつながれる。このとき、出力クラスAのライタが起動される。
〔発明の効果〕

「以上の説明から明らかなように、本発明によれ

は、リスト・ファイルを短時間に出力することが 出来、計算機の使用効率を向上させることが可能 となる。

4. 図面の簡単な説明

第1 図は従来のリスト・ファイルの出力方式を 説明する図、第2 図は本発明によるリスト・ファ イル分割処理のフローチャート、第3 図はリスト ・ファイル分割処理過程におけるジョブ出力キュ ーおよび出力パッファの状態を示す図である。

1 … ジョブの実行結果であるリスト・ファイルが格納される記憶装置、 2 … ジョブ出力キューヤ

持周昭59-180746(3)

出力中 JALTロマンドの場合には下記の処理を行う。

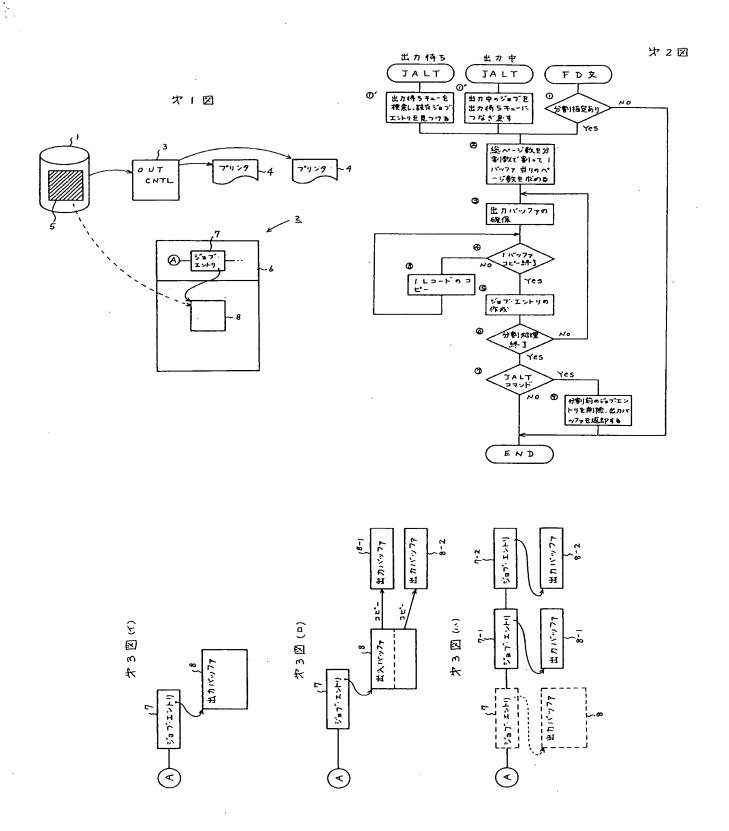
① 出力を中止し、出力パッファを出力符ちキュー (ジョブ出力キューと同じ) につなぎ戻す。 それ以後、②ないし⑨の処理を行う。

第3図はリスト・ファイル分割処理の過程におけるショブ出力キューおよび出力バッファの状態を示すものである。なお、この例は分割数を2としている。第3図(1)は分割前の状態を示すものでショブ・エントリアがつながれ、ショブ・エントリアがつながれている。第3図(1)は分割中の状態を示すものであれている。第3図(1)は分割中の状態を示すものでながれている。第3図(1)は分割中の状態ではない。出力バッファをの内容が出力が、ファミーはではから、第3図(1)は分割をの内容が出力ができない。出力パッファミーはではない。出力パッファミーに対応してショブ・エントリアー2が

出力すべきリスト・ファイルが格納される外部に 億装電、3 … 出力制御プログラム、4 … プリンタ 装置、5 … リスト・ファイル、6 … ジョブ出力キュー、7 … ジョブ・エントリ、8 … 出力パッファo

存許出顧人 富士通株式会社

* * 1



4)